



208
48

富岡八幡鐘
全



国立国会図書館 富岡八幡鐘 208-48

ガラス使用

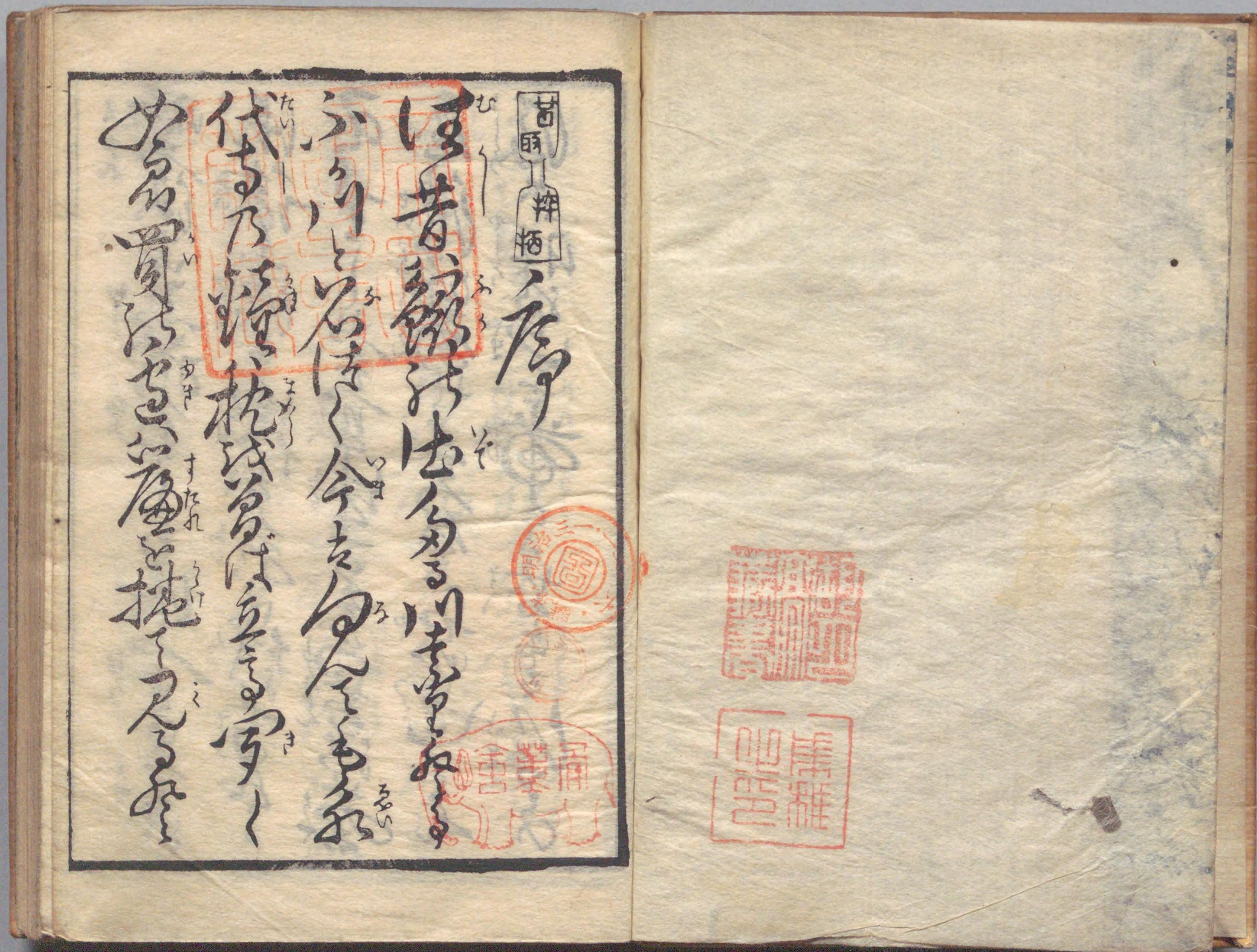
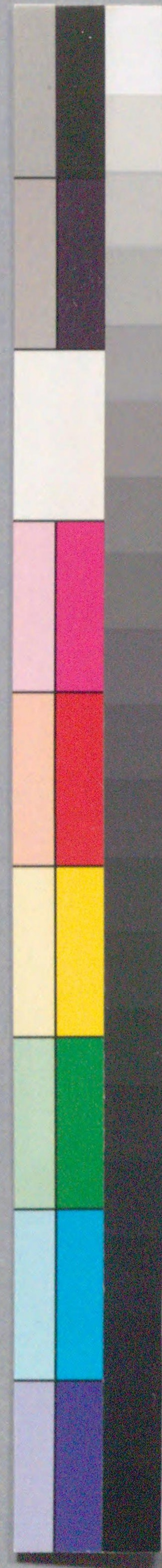
富岡八幡鐘 全

208
富岡八幡鐘
48

国立国会図書館 富岡八幡鐘 208-48

ガラス使用

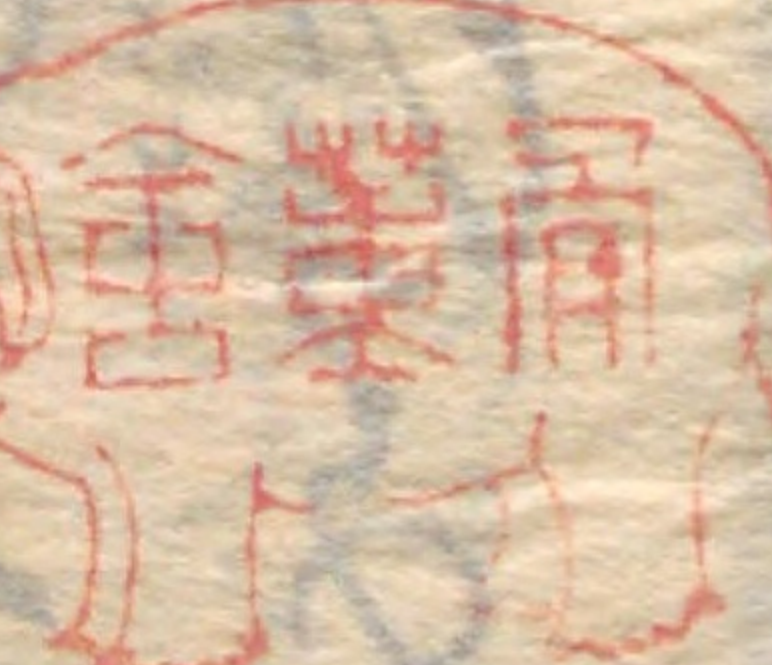




甘
 雨
 梓
 栢
 序
 昔
 解
 法
 出
 為
 川
 幸
 也
 不
 可
 名
 信
 今
 古
 何
 今
 也
 伏
 乃
 鐘
 枕
 成
 身
 是
 字
 女
 名
 胃
 法
 也
 心
 屋
 枕
 見
 也

甘雨梓栢

序





晒^{あられ}後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}
後^{あそ}向^{あそ}志^{あそ}積^{あそ}多^{あそ}くも^{あそ}出^{あそ}宗^{あそ}の^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}三^{あそ}

余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ
余^あ以^あ較^あ事^あ二^あ新^あ法^あ始^あ末^あ公^あ是^あ亦^あ自^あ在^あ





佛の御も詞をさるるをいふ
 とは平に記ししをまはさるる
 翻る帳簿と題と而已

清を人



自叙

無上佛が威言でも西方
 浄土主雙親伯父叔母
 異身も光る湖耳帝の
 碇も通も不道も

迷出まよひだしだていのあや慈親あやのい試しヒいモ
 もいれい奇きといはいしい皆みなあいしい魂たましいと
 猪ち守まも舟ふねもいろいもい二ふた脚あしほいど
 もいろい死しんでい新にい樓ろう一いっ身しんはいど
 もいろい満まんちいはい頂たかていもいろい家いえ

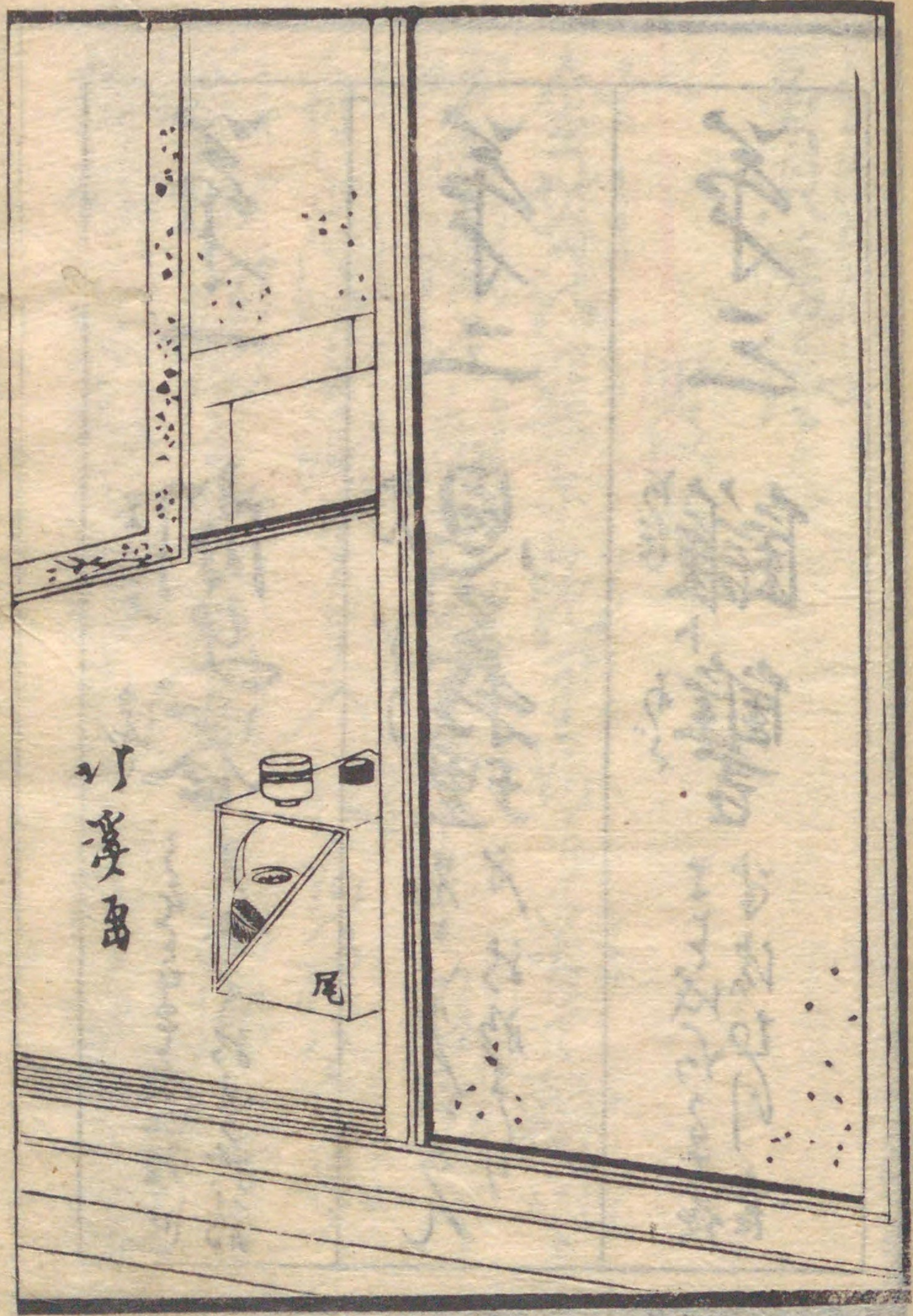
出いろい各ご爰えにいあいるい一いっ人にん
 常とこ人にんもいろいもいろい一いっ人にんと
 ちいろいしい乱らん起おこしい石いし礫りくはい
 女にしい千せん金ごんとい授まかすい
 帛ひ衣い次つぎ有ありいてい備そなへいるいのい劉りゅう尔に



もあゝ嗚呼恐づ〜
ねぐ〜とまゝ〜
一歩乃小冊改著とい〜
〜は〜のハ幡鐘
〜は〜乃力もあ〜

毫り杖つ〜初作ハ趣向ダ
紙次かんもん〜成の小春
〜霞もあび〜冊子の
厥中〜自管も〜何
〜もあ〜





第一

間々容まぶ さま

くそままの二及三
まぬくおこり物

第二

恩義理おん ぎ

兄がいんハあん
月汝ぬき

第三

讎讐りだ ちがひ

まこと改めらるる
才汝む川言

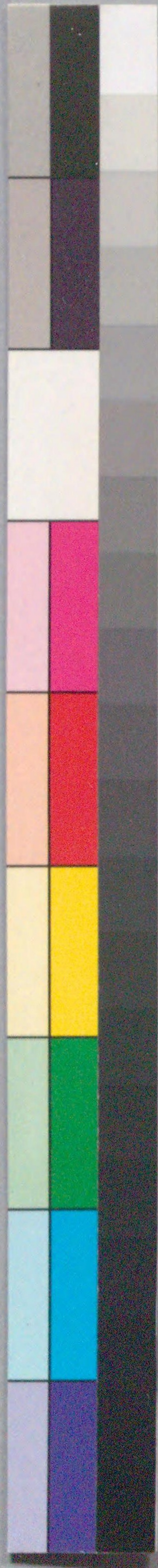
富岡八幡鐘

後語

金鉢きん ちやく 呼よ情なさけ 高たかの 湊みなと 舟ふねと 流ながる 舟ふねと 入いる 舟ふねと 出でる 舟ふねと
糸いと 揚あげ 糸いと 揚あげ 糸いと 揚あげ 糸いと 揚あげ 糸いと 揚あげ 糸いと 揚あげ
掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ
掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ 掛かけ

舟共六太し河田川の流る白粉以解
 白水と流し舟橋と新舟あり六路念
 河原も豊なる屋を裏々たる志平
 持有利下報るる練の髪は口先よ
 去碇成節親舟有り河成惜衣く六
 水初ぬ括牙舟あり情も涙糸屋舟
 何ぞ猪牙で来たる屋舟で来たる

舟共六太し河田川の流る白粉以解
 白水と流し舟橋と新舟あり六路念
 河原も豊なる屋を裏々たる志平
 持有利下報るる練の髪は口先よ
 去碇成節親舟有り河成惜衣く六
 水初ぬ括牙舟あり情も涙糸屋舟
 何ぞ猪牙で来たる屋舟で来たる



千の千り千とちりを碎て来る河利
 舟の舟り一寸先ハ霧の夜も男楫女
 楫の舟と具に入舟町乃微しな歌
 外花字の舟は下掛表法入ハ少
 扶多秋と玄冥より向は見晴見遊
 舟の轂鳴鼓の額は打て特素利
 河上舟の舟と舟入舟山と舟

舟の舟り一寸先ハ霧の夜も男楫女
 楫の舟と具に入舟町乃微しな歌
 外花字の舟は下掛表法入ハ少
 扶多秋と玄冥より向は見晴見遊
 舟の轂鳴鼓の額は打て特素利
 河上舟の舟と舟入舟山と舟

ろいんたあや、まはなあめが **波** よまをとりてみて
 まいもあやこんでらひとあつておつてあやの子
 ちや、ゆかう下のそのむせたつそのんだらあ
 るんゆあつたああめの子 と良角の **波** 女アアア
 ちやアゆとたりてあつて と良角の **波** 女アアア
孫 コウ波あつたあつてあつてあつてあつてあつてあつて
と良角の **波** 女アアア **波** 女アアア **波** 女アアア
 へあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

ちやアゆとたりてあつて と良角の **波** 女アアア
孫 コウ波あつたあつてあつてあつてあつてあつてあつて
と良角の **波** 女アアア **波** 女アアア **波** 女アアア
 へあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ



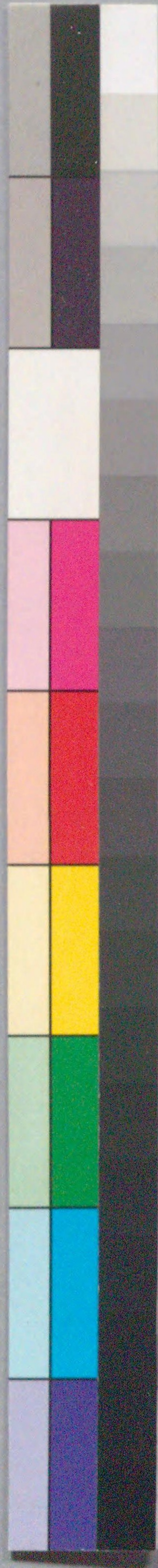
あつてきつとめりしうもいふべ
[縁] 二もやがはうづの
おへらうらうら女弟にまことのあひしんをいふ
いふまらうら女弟もいふらうらあひしんをいふ
あひしんのあつてきつとめりしうもいふべ
もむもいふしん あひしんをいふべ [治] ああ
くはあまらうら女弟もいふらうらあひしんをいふ
おへらうらうら女弟にまことのあひしんをいふ
あひしんのあつてきつとめりしうもいふべ

あつてきつとめりしうもいふべ
もむもいふしん あひしんをいふべ [縁] 二もやがはうづの
おへらうらうら女弟にまことのあひしんをいふ
いふまらうら女弟もいふらうらあひしんをいふ
あひしんのあつてきつとめりしうもいふべ
もむもいふしん あひしんをいふべ [治] ああ
くはあまらうら女弟もいふらうらあひしんをいふ
おへらうらうら女弟にまことのあひしんをいふ
あひしんのあつてきつとめりしうもいふべ



いふのらんらんもゆり子 **里** とも子 **里** 少と
いふまのらんあの子ら **里** 白の **里** 紀のまや
ここのあついでまんとあうくまんとあうくまんとあうく
まんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
といふあややあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
あうくまんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
あうくまんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
あうくまんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく

里 の **里** とも子 **里** 少と
いふまのらんあの子ら **里** 白の **里** 紀のまや
ここのあついでまんとあうくまんとあうくまんとあうく
まんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
といふあややあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
あうくまんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
あうくまんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく
あうくまんとあうくまんとあうくまんとあうくまんとあうく



Handwritten text in cursive Japanese (sōsho) on the right page. The text is arranged in vertical columns from right to left. A red arrow on the ruler points to the 5 cm mark.

Handwritten text in cursive Japanese (sōsho) on the left page. The text is arranged in vertical columns from right to left. A red box highlights the number '40' on the ruler.



後 地を降りたはるが毒女どんちあんぶ何ぞ用が
何ら **毒** ハイナット **後** 毒丸の用 **毒** ハイど
チツト **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
あら **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
地 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
が **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
出 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
コ **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人

せん **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
ど **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
か **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
そ **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
毒 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
毒 の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
い **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人
らん **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人 **毒** の人



しぬどもらるる中一後入 五 どのそそんま
るもいそ縁入でたつこしちどきよいから
そつりいれそ縁入してたらんあむいそ
だそのかつりか戸でつりやにそらむのよ
うんごもせんゆごもつりてまをなげやそ
しそし村のらむふあつそまをなげや
かこつりいしつとつてたむ 七 け
はしそらつらんけんけんしんけんあむ

印よりそらちりでもあねそららちりやあね
りしそらけんこのいそまをなげや男の
ゆかたそららけんけんけんけんけんけん
縁入そらけんけんけんけんけんけんけん
のけんけんけんけんけんけんけんけんけん
からアそらけんけんけんけんけんけんけん
かゆりけんけんけんけんけんけんけんけん
のけんけんけんけんけんけんけんけんけん



あしそんをひきつら福かきすはあは
ふきいそんよりせく **表**そんをいそりせり
でたつこしちごいそんをいそりせり
いなかちあをいそりせり
よまいそんをいそりせり
わりかきそんをいそりせり **中**毒ゆどん
向ふの屋根ぐわすゆあひ

跋
何まじふ **表** 氣き
いそりの **中** 野 **表** 菜 **中** 菜
いそり **表** 菜 **中** 菜
いそり **表** 菜 **中** 菜
いそり **表** 菜 **中** 菜



乃画を腹と一舟歌老
 酒屋ハ雲棧橋の棹
 のぬく。手のあ軟媚婦ののさ
 久白ハ一のる店の筆本と歌。
 手お持かた執教客人も来

山開城や満と。三万重
 色おた〜と〜中。意味ハ
 六島坪よるも毎粒めう〜。
 の草此奔子ハ急切此早飛
 如去揚宏遊じ〜く〜
 ちよ〜ぶ〜



208
48

富岡八幡鐘

〇七

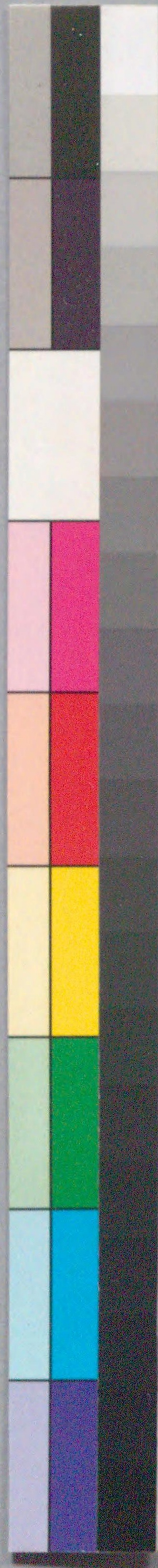
魂たま膽たんしくおおまました。厚あつ凡ひんの内うち
 の歡くわん喜きをを子こ別べつと惜あはむ。懐なつ鐘かね
 次つぎのの文ぶんののささんさんおおくくと。後あ子こあり
 一い切きりりののささ

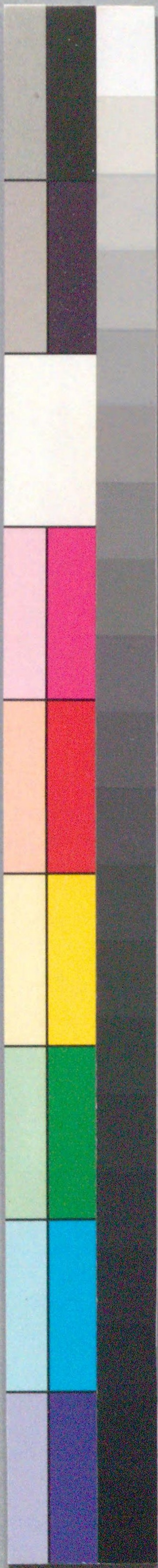
古こ鐘かねのの
 珍めづ書しよ館かん 富とみ岡おか 鐘かね 堂どう

208
富岡
48

国立国会図書館 富岡八幡鐘 208-48

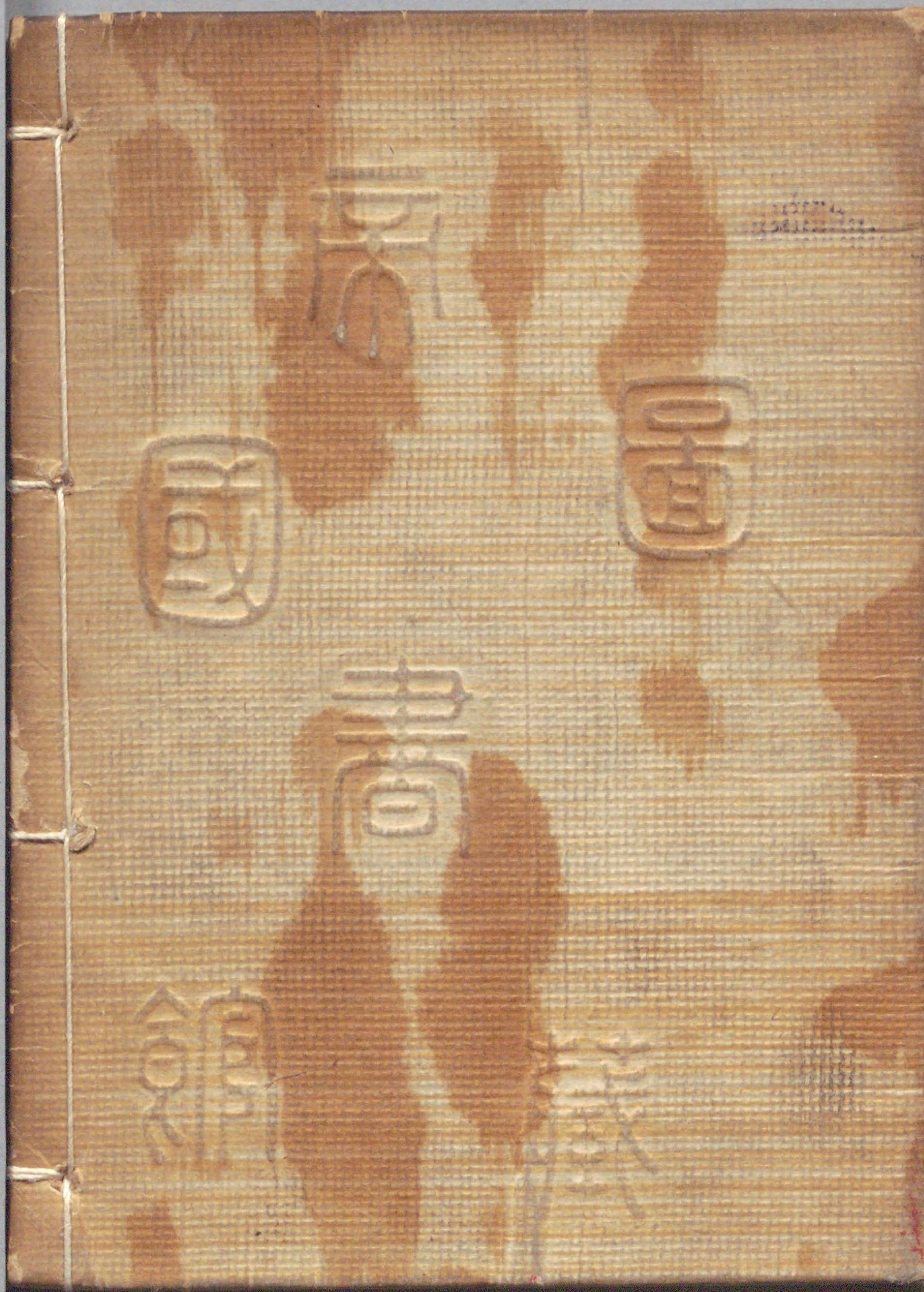
ガラス使用





国立国会図書館

富岡八幡鐘 208-48



ガラス使用

